

(別紙) 1人1日当たりの食品ロス発生量の推移の示し方について (検討事項)

1人1日当たりの食品ロス発生量の推移の考え方について、いくつか考え方があります。市民・事業者の方々にどのように伝えるとよりわかりやすいか委員の皆様からご意見をお伺いします。

- ・1人1日当たりの食品ロス発生量は、本市の家庭系可燃ごみ搬入量と事業系可燃ごみ搬入量に、排出実態調査で得た食品ロス組成割合を乗じ求めています。
- ・可燃ごみ搬入量は焼却施設への搬入量から毎年実績値を得ることができます。一方、食品ロス組成割合は5年毎にごみ排出実態調査により把握しており、家庭系ごみの排出実態調査は令和元年度、令和6年度に、事業系ごみの排出実態調査は令和2年度、令和7年度に実施しています。
- ・現行計画の改定時における最新実績（令和3年度）と、現時点の最新実績（令和7年度）の食品ロス量推計に用いた排出実態調査結果は、別紙-1の図表のとおりです。
- ・令和3年度から令和7年度までの食品ロス量の推移を示す際に、令和4～6年度の食品ロス量をどのように記載するかについていくつかの考え方があり、次ページ以降に3つのパターンを提示します。

図表 別紙-1 家庭系ごみ・事業系ごみ排出実態調査年度と食品ロス量推計の考え方

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
家庭系ごみ排出実態調査	●	→	食ロス量 算出			●	→	食ロス量 算出
事業系ごみ排出実態調査		●		→				

図表 別紙-2 家庭系ごみ・事業系ごみの食品ロス割合

	R3	R7
家庭系 食品ロス割合※1※2	[R1] 17.74%	[R6] 13.39%
事業系 食品ロス割合※3※4	[R2] 16.68%	[R7] 12.11%

※1 令和元年度（2019年度）家庭系ごみ排出実態調査結果(重量比) より
 ※2 令和6年度（2024年度）家庭系ごみ排出実態調査結果(重量比) より
 ※3 令和2年度（2020年度）事業系ごみ排出実態調査結果(重量比) より
 ※4 令和7年度（2025年度）事業系ごみ排出実態調査結果(重量比) より

(参考) 食品ロス1人1日当たり量の算出方法

【食品ロス1人1日当たり量（令和7年度）】

ごみ搬入量に食品ロス割合を乗じ、365日（閏年の年度は366日）及び毎年度の推計人口で除した値

$$\begin{aligned}
 &\cdot R7 \text{ 家庭系可燃ごみ搬入量 } 51,587.87 \text{ t} \times \text{家庭系食品ロス割合 } 13.39\%^{※1} = 6,907.62 \text{ t} \\
 &\cdot R7 \text{ 事業系可燃ごみ搬入量 } 34,971.56 \text{ t} \times \text{事業系食品ロス割合 } 12.11\%^{※2} = 4,235.06 \text{ t}
 \end{aligned}
 \quad \left. \vphantom{\begin{aligned} &\cdot R7 \text{ 家庭系可燃ごみ搬入量 } 51,587.87 \text{ t} \times \text{家庭系食品ロス割合 } 13.39\%^{※1} = 6,907.62 \text{ t} \\ &\cdot R7 \text{ 事業系可燃ごみ搬入量 } 34,971.56 \text{ t} \times \text{事業系食品ロス割合 } 12.11\%^{※2} = 4,235.06 \text{ t} \end{aligned}} \right\} 11,142.68 \text{ t}$$

$$\rightarrow 11,142.68(\text{t}) \div 365(\text{日}) \div 398,162(\text{人}) = 0.00007667\dots(\text{t}) \div \underline{\underline{76.7(\text{g})}}$$

※1 令和6年度（2024年度）家庭系ごみ排出実態調査結果(重量比) より

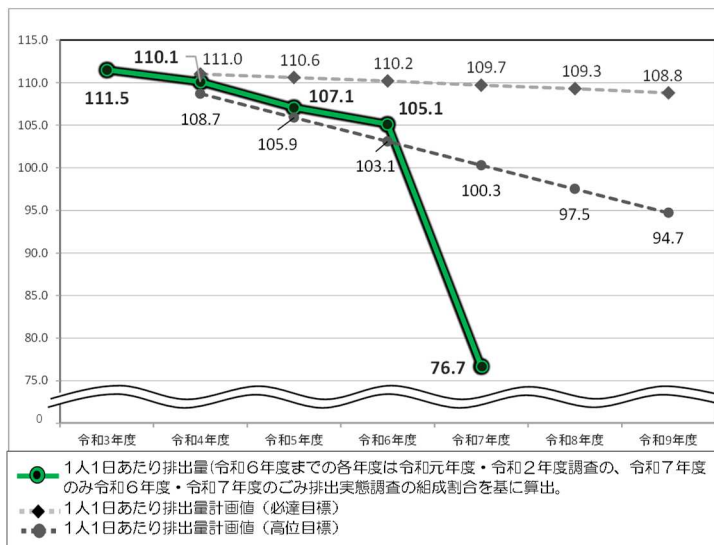
※2 令和7年度（2025年度）事業系ごみ排出実態調査結果(重量比) より

[パターン1 途中年度の組成割合は過去の調査値を使用]

・各年の食品ロス割合は直前のごみ排出実態調査から得られた割合を使用する考え方※。

・令和7年度事業等報告書での報告と同様の考え方で算出したもの。

※令和3年度から6年度までは、家庭系は令和元年度、事業系は令和2年度の調査結果を用い、令和7年度は、家庭系は令和6年度、事業系は令和7年度調査の食品ロス割合を用いた。

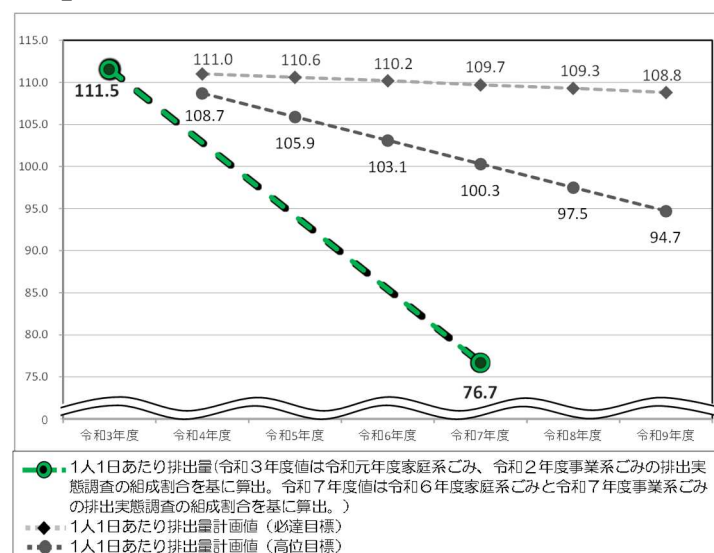


	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
推計人口	401,062	399,790	399,179	398,145	398,162
年間日数	365	365	366	365	365
食品ロス割合(家庭系ごみ)	17.74% (R1調査値)	17.74% (R1調査値)	17.74% (R1調査値)	17.74% (R1調査値)	13.39% (R6調査値)
食品ロス割合(事業系ごみ)	16.68% (R2調査値)	16.68% (R2調査値)	16.68% (R2調査値)	16.68% (R2調査値)	12.11% (R7調査値)
家庭系可燃ごみ(t)	57,580	55,575	53,427	52,189	51,588
事業系可燃ごみ(t)	36,563	37,214	36,968	36,070	34,972
食品ロス1人1日当たり量(g/人・日)	111.5	110.1	107.1	105.1	76.7

[パターン2 途中年度の推計を行わない]

・直近に実施された排出実態調査の結果のみ、推計に用いることが可能であるという考え方。

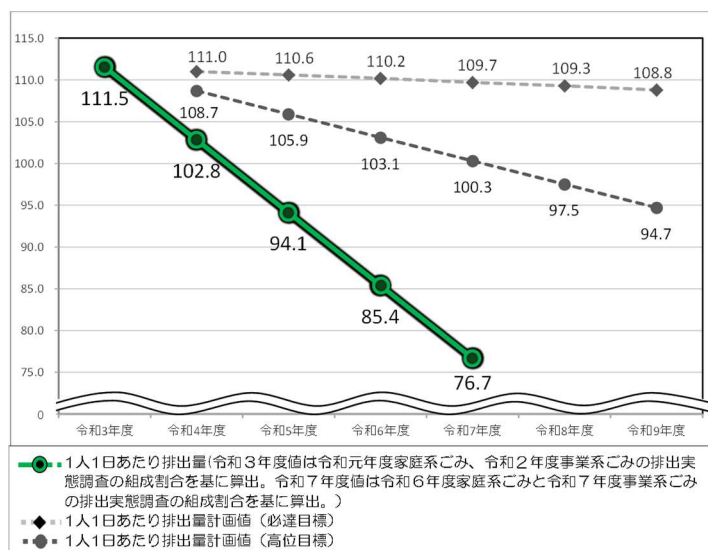
・別紙-1に示した通り、令和3年度、7年度は排出実態調査で把握した食品ロス量を掲載し、令和4年度から6年度までは食品ロス量の推計値を掲載していない。



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
推計人口	401,062	399,790	399,179	398,145	398,162
年間日数	365	365	366	365	365
食品ロス割合(家庭系ごみ)	17.74% (R1調査値)	-	-	-	13.39% (R6調査値)
食品ロス割合(事業系ごみ)	16.68% (R2調査値)	-	-	-	12.11% (R7調査値)
家庭系可燃ごみ(t)	57,580	55,575	53,427	52,189	51,588
事業系可燃ごみ(t)	36,563	37,214	36,968	36,070	34,972
食品ロス1人1日当たり量(g/人・日)	111.5	-	-	-	76.7

[パターン3 途中年度の1人1日当たり量が連続的に推移するよう補間]

- ・食品ロス割合は調査の実施される5年おきに更新されるが、実際にはその間の5年間にも食品ロス量は連続的に変化していると仮定する考え方。
- ・令和4年度から令和6年度の食品ロス1人1日当たり量を、令和3年度と令和7年度を始点・終点として直線的に推移したと仮定して推計（直線補間）。



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
推計人口	401,062	399,790	399,179	398,145	398,162
年間日数	365	365	366	365	365
食品ロス割合(家庭系ごみ)	17.74% (R1調査値)	-	-	-	13.39% (R6調査値)
食品ロス割合(事業系ごみ)	16.68% (R2調査値)	-	-	-	12.11% (R7調査値)
家庭系可燃ごみ(t)	57,580	55,575	53,427	52,189	51,588
事業系可燃ごみ(t)	36,563	37,214	36,968	36,070	34,972
食品ロス1人1日当たり量(g/人・日)	111.5	102.8	94.1	85.4	76.7